

幸田町シニア・シルバー世代サポートセンター
事業報告書

令和6年3月31日
幸田町生涯現役推進協議会

目次

はじめに	3
1. 高年齢者と企業(事業主)の雇用・就業に係るニーズ調査・分析	4～5
2. 高年齢者・事業主等への啓発	6～15
3. 高年齢者向けの雇用・就業の場の創出	15
4. 各種個別相談	16～17
5. アウトプット指標(目標)・アウトカム指標(目標)と実績	18～20
6. ネットによる情報発信	21～22
7. パンフレットによる情報発信	23
8. 今後の取り組み	24
おわりに	25

はじめに

幸田町シニア・シルバー世代サポートセンターは、令和2年5月に厚生労働省委託事業「生涯現役促進地域連携事業」に採択された幸田町シニア・シルバー世代サポート推進協議会の事務局として、幸田町に在住する55歳以上のシニア・シルバー世代の方々が個人の意欲に応じて就労・起業・社会活動等の新たな担い手として活躍することにより健康維持・介護予防などにつなげ、健康寿命を延ばすことによる医療費や介護費等の軽減を図り、将来的に幸田町が持続可能な高齢者福祉政策の一助とすることを目的にスタートいたしました。

以降、町内のシニア・シルバー世代の方々の就業や地域内での活動等についての相談や、企業等が新しい生き方・仕事づくりについて相談できるプラットフォームとしての役割を果たすとともに、企業訪問、セミナーの開催等、様々な事業を実施してまいりました。

令和5年3月をもって「生涯現役促進地域連携事業」は無事に完了いたしました。同年7月に厚生労働省委託事業である「生涯現役地域づくり環境整備事業」に採択された幸田町生涯現役推進協議会の事務局として、昨年度までの連携事業の実績を踏まえて、幸田町が目指す「ウェルビーイングのまちづくり」と相互連携しつつ、さらに一歩進める事業展開をすることになりました。

具体的には幸田町の資源である里山の可能性を探る「里山ウェルビーイングセミナー」の実施、高齢者にこそ利便性を活かしてほしいスマートフォン活用の啓発を目的とした「アウレア倶楽部」の開設、シニアボランティアによる小学生遠足のサポートなどです。

令和3年度に「無料職業紹介所」の厚生労働大臣許可を得て、認知度アップに尽力したことから、町民からの相談も増加しておりますが、何より相談員が情報収集に努め、根気よくマッチングを行った結果、目標を大きく上回る就労実績を残すことができました。

次年度以降も「幸田町のハローワーク」としてマッチング実績を積み上げるとともに、農林業の担い手作りや、シニアによる子育て世代支援にも積極的に取り組んでまいります。

1. 高齢者と企業(事業主)の雇用・就業に係るニーズ調査・分析

①高齢者ニーズ調査(令和5年8月実施)

主に定年後の活動意欲を調査するために、幸田町内在住の50歳から54歳の男女500人、55歳から70歳の男女2000人を無作為抽出して、調査票を郵送し、422人から回答を得た。

前回の令和4年7月調査では、定年後のライフプランについて「働きたい」「健康寿命を伸ばしたい」という気持ちが強いにも関わらず、具体的な働き方をイメージできていないことが伺えたことから、①50歳から54歳を調査対象に拡大し②過去2回(令和元年・令和4年実施)の調査結果の比較も盛り込んで分析した。集計・分析結果は、ホームページにて公開している。

②企業(事業主)ニーズ調査(令和5年8月実施)

高齢者の雇用を前向きに考える企業との繋がりを拡大するため、幸田町商工会に調査協力の依頼をした。企業のニーズを探るために商工会会員向け会報の郵送時に、無作為抽出した200社へアンケート調査用紙を封入していただき、55社から回答を得て、集計と分析結果をホームページに公開した。

雇用意欲のある事業所には個別アプローチをするとともに、求人情報をホームページに掲載し、2ヶ月に一度情報を更新している。

2つの調査の分析結果からは、以下のような考察が得られ、今後に向けた課題が浮き彫りになった。

- 就業希望者は多数いるのに、雇用を希望する事業所との間にミスマッチが起こっている。事業所の希望としては若年層を求めたいようだが、人生100年時代となった昨今、人材確保のためには「脱年齢」「消齢化」を意識して高齢者雇用へのシフトを進めることや、「フルタイム」「正社員」にこだわらず、アウトソーシングによる拘束時間の削減、短時間シフトの工夫、一人でやる業務を二人ペアで行う、助成金の活用など、高齢者のライフスタイ

ルに対応した業務見直しを啓発したい。無料職業紹介所としてのアプローチやセミナー開催が必要と思われる。

- 大企業退職者が中小企業に対し、指導役としての就業、あるいは在職中から副業として中小企業の支援を行い、定年後に備える、なども考えられる。マッチングを成立させるためには、双方のニーズや条件などを擦り合わせる必要があるが、採用企業にとってのメリットを訴えたい。
- 定年後の活動意欲は旺盛ながら、そのための準備が行われていない。50代からのキャリアプランやライフプランの啓発が個人にも事業所にも必要だと思われる。
- 町民個人・事業所ともに本事業の周知はまだまだ不足している。従来の告知活動とともにホームページ上の情報発信の充実が必要だと思われる。

【所感】

健康寿命についての理想と現実のギャップは10歳以上ある。それを埋めていくためには、定年してから考える、ではなく、50代くらいからの準備が必要ではないだろうか。心身の健康維持や経済的な理由だけではなく、社会とのつながりを保つという意味でも、とりわけ「就労」は重要であるため、個人には働き方や生き方をしっかりと考えてほしいし、事業所も従業員のキャリアデザインやライフデザインに関与することで、人材不足に緩和につながると考える。

2. 高年齢者・事業主等への啓発

(プッシュ訪問、セミナー、職場見学会、就労体験会)

2-1 プッシュ訪問

・本事業の趣旨に賛同する企業・団体を増やし、より大きな成果を目指すために、積極的に訪問した。

企業（事業主）・団体等訪問回数

	合計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
目標	15	0	5	5	5
実績	51	0	6	35	10

【所感】

当事業のPRを兼ねて求職者とのマッチングに向けた積極的な働きかけを行うために、事業所・団体等の訪問に注力した結果、目標を大きく上回る訪問回数となり、後述する求人者の就職に大きな成果を上げることができた。

2-2 各種セミナー

セミナーは前年度までの事業の中で実施して好評だったものを再度開催したり、新たなテーマとして農林業の新たな担い手づくり、オンラインコミュニティの醸成などを盛り込んだ。内容の充実と、開催回数を増やすことで、より多くの町民との繋がりを獲得しつつ、事業の認知拡大に努めた。参加者を増やすために専用のチラシ・配布資料などを作成し、ホームページでの告知や申し込みフォームの設置も行なった。

開催後は、講師や参加者の許可を得て写真や動画を撮影し、セミナーの内容とともに、ホームページに掲載し、確認できるようにした。

開催実績は次のとおりである。

		年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
高年齢者等 向けセミナー	目標	130人		40人	40人	50人
	実績	521人		217人	252人	52人
	達成率	400.8%		542.5%	630.0%	104.0%
事業主向け セミナー	目標	30人		10人	10人	10人
	実績	30人		0人	10人	20人
	達成率	100.0%		0.0%	100.0%	200.0%

No.	月	日	タイトル	
1	7	5	第1回 機運醸成・就業セミナー	ミドル・シニア社員一人一人を活かすキャリア Reデザイン
2		6	第1回 社会参加セミナー	スマホでまちあそび
3		14	第2回 社会参加セミナー	スマホでまちあそび
4		28	第3回 社会参加セミナー	スマホでまちあそび
5		31	第1回 プロボノセミナー	フレイル予防運動
6	8	2	第4回 社会参加セミナー	包みとりボンで学ぶ 優しいラッピング
7		4	第5回 社会参加セミナー	六栗地区・里山ウェルビーイング・セミナー
8		18	第6回 社会参加セミナー	スマホでまちあそび
9		22	第7回 社会参加セミナー	スマホでまちあそび
10		28	第2回 プロボノセミナー	夏バテ・熱中症予防
11	9	8	第8回 社会参加セミナー	スマホでまちあそび
12		13	第9回 社会参加セミナー	坂崎地区・里山ウェルビーイング・セミナー
13		15	第3回 プロボノセミナー	足の筋力向上や痛み軽減となる解決策
14		20	第10回 社会参加セミナー	スマホでまちあそび
15		25	第4回 プロボノセミナー	油断大敵！あなたの血圧大丈夫？
16	10	8	第11回 社会参加セミナー	こうた筆柿 収穫・栽培指導セミナー
17		11	第12回 社会参加セミナー	深溝地区・里山ウェルビーイング・セミナー
18		13	第13回 社会参加セミナー	スマホでまちあそび
19		20	第14回 社会参加セミナー	スマホでまちあそび
20		23	第5回 プロボノセミナー	介護保険制度って？
21		25	第15回 社会参加セミナー	食養生で健康寿命の延伸
22	11	7	第16回 社会参加セミナー	スマホでまちあそび
23		15	第17回 社会参加セミナー	荻地区・里山ウェルビーイング・セミナー
24		20	第6回 プロボノセミナー	冬の寒さに負けない体力づくり
25		28	第18回 社会参加セミナー	スマホでまちあそび
26		29	第19回 社会参加セミナー	無理なく、楽しく健康に
27	12	2	第20回 社会参加セミナー	大草地区・里山ウェルビーイング・セミナー
28		5	第1回 事業主向けセミナー	事業主として55歳からの働き方、生き方を考える
29		8	第7回 プロボノセミナー	スッキリ片付けて、お得に暮らそう 今から始めるかんたん整理
30		10	第21回 社会参加セミナー	日本一のシェアを誇る幸田町の特産品「筆柿」を知る
31		15	第22回 社会参加セミナー	無理なく、楽しく健康に
32		18	第8回 プロボノセミナー	自宅でもできる身体を温める運動
33	1	5	第23回 社会参加セミナー	転ばぬ先の杖としての太極拳
34		25	第2回 事業主向けセミナー	コロナ禍ならびにウクライナ侵攻下での今後の日本経済と国際経済の今後
35	2	7	第9回 プロボノセミナー	口活をはじめよう～楽しく暮らすために～
36		16	起業塾	得意なことを仕事にしちゃおう
37	3	25	第10回 プロボノセミナー	食生活を一緒に見直してみましよう！

<令和5年度 開催セミナー紹介>

①機運醸成・就業セミナー：1回

令和5年7月5日「ミドル・シニア社員一人一人を活かすキャリア Reデザイン」を幸田町ひと・しごと交流施設で開催。参加者は10人。



②高齢者向け社会参加セミナー：23回

令和5年10月8日、12月10日に幸田町の特産品である筆柿の「栽培体験セミナー」を開催。柿の木の手入れ、摘果、収穫、剪定を体験した。参加者はのべ28人。



令和5年7月6日、14日、28日、8月18日、22日、9月8日、20日、10月13日、20日、11月7日、28日「スマホでまちあそび」を幸田町老人福祉センターで11回開催。総参加者189人。



令和5年8月2日「包みとリボンで学ぶ 優しいラッピング」を幸田南部まちづくり交流拠点施設（やまびこ館）で開催。参加者18人。



令和5年8月4日、9月13日、10月11日、11月15日、12月2日「里山ウェルビーイングセミナー」を幸田町内5地区で5回開催。総参加者87人。



令和5年10月25日「食養生で健康寿命の延伸」を幸田町老人福祉センターで開催。参加者23人。



令和5年11月29日、12月15日「無理なく、楽しく健康に」を幸田町老人福祉センターなどで開催。参加者39人。



令和6年1月5日「転ばぬ先の杖としての太極拳」を幸田町老人福祉センターで開催。参加者21人。



③プロボノセミナー：10回

令和5年7月31日、8月28日、9月25日、10月23日、11月20日、12月18日、3月25日、看護師と栄養士によるフレイル予防セミナーを三ヶ根クリニックで7回開催。総参加者31人



令和5年9月15日「足の筋力向上や痛み軽減となる解決策」を大草老人憩の家で開催。参加者28人。



令和5年12月8日「スッキリ片付けて、お得に暮らそう 今から始めるかんたん整理」を、幸田町老人福祉センターで開催。参加者20人。



令和6年2月7日「口活をはじめよう～楽しく暮らすために～」を幸田町老人福祉センターで開催。参加者22人。



④事業主向けセミナー：2回

令和5年12月5日「事業主として55歳からの働き方、生き方を考える」を幸田南部まちづくり交流拠点施設（やまびこ館）で開催、参加者10人。

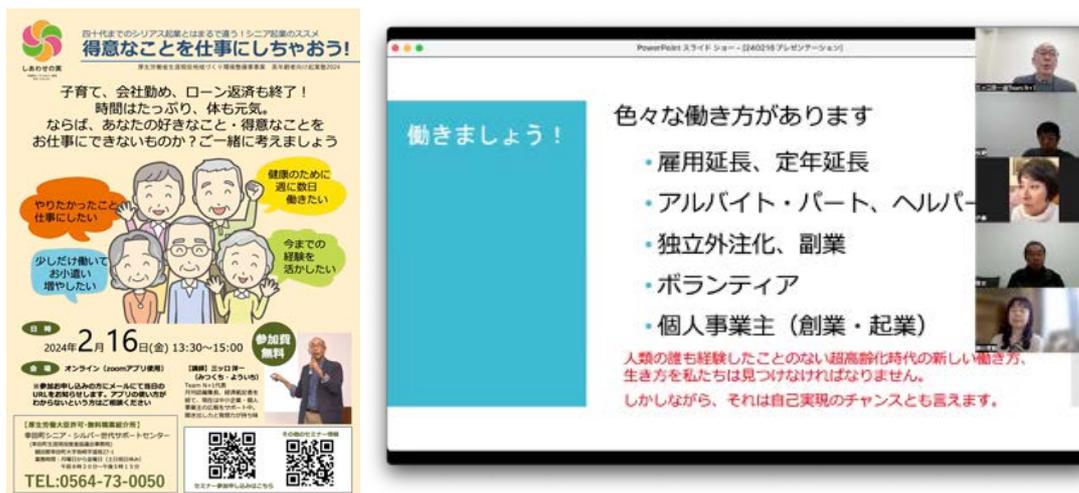


令和6年1月25日「コロナ禍ならびにウクライナ侵攻下での今後の日本経済と国際経済の今後」を幸田町民会館で開催。参加者20人。



⑤起業家向けセミナー: 1回

令和6年2月16日「得意なことを仕事にしちゃおう」をオンライン（zoomミーティング使用）で開催。参加者5人。



【所感】

当初目標の13回の開催目標（高年齢者向け10回・事業主向け3回）に対し、37回のセミナーを実施することができた（高年齢者向け35回・事業主向け2回）。セミナー参加者総数はのべ551人（高年齢者521人、事業主30人）であり、参加者からアンケートを回収し、平均満足度は高年齢者95.9%、事業者は99.3%だった。

各セミナーはいずれも満足度の高さから、ニーズに応えられたのではないだろうか。センターの存在や無料職業紹介所の認知を高めるためにもセミナー事業は有効であったと思う。

特に幸田町が提唱する『里山ウェルビーイングのまちづくり』を踏まえた里山の担い手作りや、スマートフォンの使い方を指導する「スマホでまちあそび」では、独自のLINE公式アカウントに237人という登録を獲得するとともに、運営を幸田町老人福祉センターに委託できたことで、プラットフォーム化につなげることができたのは大きな収穫であった。

今後の課題としては、50歳から60歳前後の層にライフプランやキャリアプランを啓発するもの、高年齢者による子育て世代支援に関するもの、事業所向けには、商工会などと共催で人生100年時代の高齢者活用に向けた新たな働き方の工夫や社内の制度整備などを支援するものなどを行なっていきたい。

2-3 職場見学会・就労体験会

高齢者が就労可能な業務を知る機会を提供する目的で職場見学会と、就労体験会を各1回実施した。

- ① 職場見学会 令和6年1月17日開催（目標10人/参加者10人、達成率100.0%）

株式会社デンソーの協力を得て、同社の幸田製作所の見学会を行った。幸田製作所では自動車の頭脳とも言える重要部品を生産しており、設計から製品化まで社内で一貫して行えることが強みになっているということを学ぶことができた。生産現場においては、人とロボットが協業する様子を見学でき、就活の参考になったのではないかと思う。



- ② 就労体験会 令和5年12月6日開催（目標10人/参加者10人、達成率100.0%）

農家就業の動機づけを目的に平岩農園にご協力いただき、冬季の農作業としてぶどう収穫後の「房落とし」作業を体験した。同農園は無農薬で高品位な果物や米を生産しており、参加者は生産に対する考え方にも触れるとともに、担い手不足の実情や軽作業のニーズがあることも理解できたと思う。



【所感】

就職に結び付けることを目的に、今回はモノづくり事業所の見学と農業の体験会をした。やはり話で聞くのと、現場を見るのではリアリティが異なるし、さらに体験をすれば働いている自身のイメージが描きやすいと思う。今後は商業や林業、ボランティア活動の体験会なども行っていきたい。

3. 高齢者向けの雇用・就業の場の創出

① 雇用と就労の合同（就職）説明会 令和6年1月25日

	目標	実績	達成率
高齢者	10人	10人	100.0%
事業所	5社	5社	100.0%

幸田町内で求人中の事業所に参加していただき、幸田町民会館で就業希望者とのマッチングを行った。



【所感】

事業所の担当者と直接話せる場は、真剣に就業を考える方にとって有意義な場になったと思う。しかしながら、高齢者・事業者ともに十分な参加者を集められなかったのが反省点である。周知の工夫、幅広い業種への参加呼びかけ、他の催事や勉強会・相談会と組み合わせるなどして、参加者を増やしたい。

4. 各種個別相談

①高年齢者相談窓口 相談受付件数

就職、起業、ボランティア、プロボノへの参加を促進するための個別相談

目標：55人、実績160人、達成率290.9%

②企業（事業主）相談窓口 相談受付件数

幸田町内及び近郊にある事業主等から雇用促進のための個別相談

目標：15人、実績23人、達成率153.3%

(単位：人)		合計	第2四半期	第3四半期	第4四半期
高年齢者等 相談受付件数	目標	55	15	20	20
	実績	160	50	52	58
	達成率	290.9%	333.3%	260.0%	290.0%
事業者相談 受付件数	目標	15	5	5	5
	実績	23	11	7	5
	達成率	153.3%	220.0%	140.0%	100.0%

(単位：人)		合計	第2四半期	第3四半期	第4四半期
高年齢者 週20時間以上 就労者数	目標	15	5	5	5
	実績	29	9	13	7
	達成率	193.3%	180.0%	260.0%	140.0%
高年齢者 週20時間未満 就労者数	目標	9	3	3	3
	実績	9	6	0	3
	達成率	100.0%	200.0%	0.0%	100.0%
高齢者シルバー 人材センター	目標	2	0	1	1
	実績	3	1	2	0
	達成率	150.0%	0.0%	200.0%	0.0%
高齢者有償 ボランティア数	目標	2	1	0	1
	実績	2	1	1	0
	達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
高齢者無償 ボランティア数	目標	20	5	10	5
	実績	55	27	18	10
	達成率	275.0%	540.0%	180.0%	200.0%
高齢者以外 週20時間以上 就労者数	目標	3	1	1	1
	実績	3	0	1	2
	達成率	100.0%	0.0%	100.0%	200.0%
高齢者以外 週20時間未満 就労者数	目標	2	1	0	1
	実績	2	0	0	2
	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	200.0%
高齢者以外有償 ボランティア数	目標	2	0	1	1
	実績	2	0	0	2
	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	200.0%
高齢者以外無償 ボランティア数	目標	10	3	3	4
	実績	27	25	0	2
	達成率	270.0%	833.3%	0.0%	50.0%
高齢者満足度	目標	90%	90%	90%	90%
	実績	99.3%	99.6%	99.4%	99.0%
	達成率	110.3%	110.7%	110.4%	110.0%
事業者満足度	目標	90%	90%	90%	90%
	実績	99.6%	99.1%	100.0%	100.0%
	達成率	110.7%	110.1%	111.1%	111.1%

5. アウトプット指標（目標）・アウトカム指標（目標）と実績

①高年齢者・企業（事業主）等への啓発と連携

セミナー、職場見学、窓口相談等アンケートによる本事業への満足度

高年齢者	目標	実績	達成率
セミナー	90%	95.9%	106.6%
職場見学会	90%	96.0%	106.7%
就労体験会	90%	90.0%	100.0%
合同就職会	90%	99.0%	110.0%
窓口相談	90%	99.3%	110.3%

事業者	目標	実績	達成率
セミナー	90%	99.3%	110.3%
合同就職会	90%	99.0%	110.0%
窓口相談	90%	99.6%	110.7%

②新規就業、起業、ボランティア参加

●新規就職：本事業における就職者・ボランティア参加者数

	目標	実績	達成率
高年齢者/週 20 時間以上就労者	15人	29人	193.3%
高年齢者/週 20 時間未満就労者	9人	9人	100.0%
高齢者/シルバー人材センター	2人	3人	150.0%
高齢者/有償ボランティア	2人	2人	100.0%
高齢者/無償ボランティア	20人	55人	275.0%
高齢者以外/週 20 時間以上就労者	3人	3人	100.0%
高齢者以外/週 20 時間未満就労者	2人	2人	100.0%
高齢者以外/有償ボランティア	2人	2人	100.0%
高齢者以外/無償ボランティア	10人	27人	270.0%

主に高年齢者の就職支援をする無料職業紹介所として、チラシを作成して、機会あるごとに配布したり、ホームページ、広報こうたなどで周知に

努めた結果、問い合わせも獲得できた。しかし、目標を大きく超える就労実績をあげられたのは、やはり相談者に寄り添い、粘り強く何度も面談やマッチングを行った相談員の熱意や根気、努力の結果だと思われる。

生涯現役・就業促進事業
幸田町シニア・シルバー世代サポートセンター
無料職業紹介所 厚生労働大臣許可
(許可番号:23-ム-300021)

求職 転職 再就職

無料で就職先をご紹介します

就職のことで
身近にお困りの方がいたら
ご紹介ください!

- 安心! 厚生労働大臣許可の無料職業紹介所です
- 専門のスタッフがあなたのご希望を伺います(秘密厳守)
- 幸田町内の企業から求人がたくさん来ています
- 岡崎ハローワークと連携し、同じ求人情報があります
- 年齢・性別は問いません

就職のご相談希望の方は
裏面へ

無料職業紹介所 厚生労働大臣許可
番号:23-ム-300021

幸田町シニア・シルバー世代サポートセンターに **お電話・FAX** ください

ご連絡いただければ、希望に合う就職先を、何回でもご紹介いたします

TEL:0564-73-0050 FAX:0564-73-0051

お名前 _____

ご住所 _____

お電話番号 _____

メールアドレス _____

ご希望職種 _____

<当センターからご連絡させていただきます。ご希望の連絡方法に✓をつけてください>

電話にて: 平日8:30~17:15の間でご希望の時間 _____ ~ _____

メールにて _____

<ご利用者の声>

年金以外の収入が月に5万円できて良かった!

会社に雇用契約をしたものの、思っていたような職場にたづなづなでしたが、幸田町内の企業から求まれて就職することができたよ

↑お勤めの会社の給与明細表が来たので、お金の流れを確認しました。

【厚生労働大臣許可・無料職業紹介所】
幸田町シニア・シルバー世代サポートセンター
幸田町生涯現役推進協議会事務局
〒410-0001 幸田町大字幸田町2-2-1
開館時間: 月曜日から金曜日(土日祝日休み)
午前8時30分~午後5時15分
ホームページでも、最新企業情報やお役立ちセミナー情報を発信しています。

●起業者数: 本事業における起業者数 (目標 1 人・実績 1 人・達成率 100.0%)

四十代までのシニア起業とはまるで違う! シニア起業のススメ
得意なことを仕事にしちゃおう!

子育て、会社勤め、ローン返済も終了!
時間はたっぷり、体も元気。
ならば、あなたの好きなこと・得意なことを
お仕事にできないものか? ご一緒に考えましょう

健康のために週に数日働きたい

やりがかったこと仕事にしたい

少しだけ働いてお小遣い増やしたい

今までの経験を活かしたい

2024年2月16日(金) 13:30~15:00

参加費 無料

【講師】 佐々木 洋一
「働く」をテーマにした講演会を開催し、多くのシニア起業家を輩出した。また、シニア起業の魅力を伝える講演会を開催し、多くのシニア起業家を輩出した。

【参加費】 無料

【申し込み】 幸田町シニア・シルバー世代サポートセンター
〒410-0001 幸田町大字幸田町2-2-1
TEL:0564-73-0050

Zoom Meeting: 事業計画のポイント

●月の売り上げはいくら?
(ほしい利益に経費を加算して逆算)

●原価はいくら?
(仕入れ、原材料費、家賃、光熱費、交通費、広告費など)

●いつまでどのくらいの売り上げにする?
(目標=金額・スケジュール)

●そのために何をどうするか?
(戦略、販売促進計画)

●ワクワク感大切
(どうなりたいか、どうしたいか、モチベーション)

●テスト大切
(市場調査、試し売り)

●結果は真摯に受け止める
(計画の修正も許さず)

	4月	5月	6月
売り上げ	150	150	150
原価	20	20	20
変動費	30	20	50
利益	100	110	80

起業直前・直後の方を対象にオンラインセミナー（ZOOM利用）で「起業塾」を開催したところ、5人の参加者があり、セミナー終了後には個別相談も実施した。

起業という就労、趣味やボランティア活動以外の働き方・生き方としての選択肢を提案するものである。

セミナーでは高年齢者に対し、健康寿命の延伸のために「就労」が大切であることを訴求し、個人事業主のメリット、副業・復業も含めさまざまなパターンの働き方があることや、経験者の事例を多数紹介した。

実績としては1人の起業を支援することができた。大手企業のグループ子会社にあって、取引先である自動車部品メーカーから、「定年後も個人事業主として、設計や実験などの開発サポートを依頼したい」と申し出があったそうだ。

ご相談を受けて、個人事業主になるための届け出の手続き方法、税制の説明、についてアドバイスをしたり、大手企業との取引を想定しているため契約書の重要性・注意点を説明して、契約書のチェックなども行い、無事に開業・取引を開始することができた。

6. ネットによる情報発信

ホームページでは情報発信をこまめに行った。センターからの案内、セミナーの告知・開催報告、天候に左右される屋外イベントの開催情報、求人情報、町民や事業所の意識調査結果などを公開している。

セミナーの参加申し込みフォームはGoogle フォームで作成し、ホームページのセミナー告知ページにリンクを貼って、申し込みと同時に職員が対応を行なっている。

幸田町シニアシルバー世代サポートセンターのYouTube チャンネルには、セミナー参加者などの声を紹介した動画は、過去のものも含めると178本となり、再生回数は令和5年7月～令和6年3月では累計約4000回となった。

また、スマートフォンの使い方セミナー「スマホでまちあそび」を行うにあたり、LINE公式アカウント「アウレア倶楽部」を作成、老人福祉センタースタッフで運営ができるようにサポートを行なった。

幸田町ホームページへのリンク、町内でのイベントの案内や健康に関する情報提供などを行なっている。登録者を増やすため、QRコード付きのカードを制作して、あらゆる場面で配布し、237人（令和6年3月31日現在）の登録を獲得できた。今後の活用が楽しみである。

幸田シニアシルバー世代サポートセンターホームページ



LINE公式アカウント「幸田アウレア倶楽部」



幸田町シニア・シルバー世代サポートセンターYouTubeチャンネル



7. パンフレットによる情報発信

①事業案内パンフレット

当協議会のコンセプトや目指す方向性を解説したパンフレットを制作、相談窓口やセミナー参加者に配布している。パンフレットのデータはホームページでも公開している。



②里山ウェルビーイングセミナー報告書

幸田町では町の資源である里山を生かし、新たな森林サービス産業と雇用を創出し、「生涯現役＝ウェルビーイング」のまちづくりの実現に向けて取り組んでいる。当協議会が進める事業の方向性とも一致するため、一層の連携強化に努めたい。今回のセミナーでは里山が含まれる町内五地区のそれぞれを会場にして、里山を保全したり、そこから新たな価値を生み出すこと、それらを担う人材の育成を目的に開催した。議論の内容や課題、目指すビジョンをマガジン風の冊子として記録に残し、今後の展開に役立てたい。住民への啓発のため、町内の飲食店など各所に設置するほか、ホームページでもダウンロードできるようにした。



8. 今後の取り組み

当センターの事業領域は幅広いが、予算や人員には限りがある。今後自主独立を目指し、どのような連携をし、どのような事業を展開するべきか、アンテナを立てて、情報収集に努める。

対象	取り組み項目
高年齢者	① 50代からのライフプラン・キャリアプラン啓発
	② 就労に必要なスキルアップ
	③ 働き方の選択肢の提示
	④ 介護・終活・相続・資産運用などの情報収集
	⑤ 心身の健康維持
	⑥ 高年齢者による子育て世代支援の可能性調査
企業	① 人材不足対策としての高年齢者活用
	② 製造業OB・OG人材の生活・終活支援サービス業
	③ 企業や団体との連携、協賛の獲得
森林事業	① 森林ボランティアから森林サービス産業化
	② オーガニック飲食店や木のおもちゃ美術館の誘致
	③ 木工系クリエイターが集まる拠点作り
農家	① ECサイトによる農家の販促支援
	② 農業従事希望者のマッチング
	③ PCアプリの操作・設定支援

おわりに

今年度から始まった「生涯現役地域づくり環境整備事業」は、令和4年度までの「生涯現役促進地域連携事業」を一步進めた連続性・発展性のある事業だと理解しております。受託した当協議会は、全国の手本となるモデルケースを示せるよう、スタートを切ったところです。「幸田町シニア・シルバー世代サポートセンター」は、その事務局として、住民・諸団体とともに持続可能な町づくり事業を進めるためのハブとして機能するのが本来の役割です。とりわけ就労意欲のあるシニア・シルバー世代の方々と、企業や地域で生き生きと活躍できる場とのマッチングを実現させていくことが重要だと感じております。

その一方で、企業・農家・地域・里山等、幸田町が有する地域資源を生かし、新しい産業、新しい働き方を作っていく挑戦でもあります。「社会とのつながりが切れることのない暮らし方・働き方」や「健康維持としての就労」、「年金にプラスした所得を得て、豊かなセカンドライフ・サードライフ」を支援していくために、無料職業紹介所を有する幸田町シニア・シルバー世代サポートセンターが幸田町の目指す「ウェルビーイングのまちづくり」を支えるという期待は今後ますます大きくなることが予想されます。

人生100年時代に突入し「定年後は年金をもらって満ち足りた生活」という旧来のライフプランが通用しなくなった昨今、シニアライフやセカンドキャリアをいかに充実させていくかという、大きな課題の解決に向け、4月1日からは事務局を幸田町生涯現役館（幸田町上六栗堀合 41-1）に移転して、職員一同心機一転、従来以上に使命感を持って今後も事業を継続・発展させていく所存です。

以上